

全国大学ゴルフ指導者研究会研修会 指導者認定制度実施要領

(平成 28 年度版)

本研究会が主催する研修会に 2 回以上参加し、期間中に実施するゴルフ理論 (実技と講義) を受講するとともに、実技テストに合格した者に大学ゴルフ指導者としての資質を保持するものと認定し、認定証を授与する。また、指導者認定の審査料は 2,000 円とする。

(過年度の参加により受講したゴルフ理論 (実技と講義) も、指導者認定条件に有効とする。)

- 実技研修内容：初心者指導法の受講、実戦による総合技術とコース・マネジメントの修得
- 講義研修内容：多岐にわたるゴルフ関連領域について幅広く研究討議を行うため、各年度により講義内容を変更する。このため、2 回以上の研修会参加により下記 2 項目以上を受講すること。

ゴルフの歴史、ルールとエチケット、ゴルフ用具の性能と適性、ゴルフの安全管理、ハンディキャップの知識、ゴルフのトレーニング、ゴルフコースの内容と構成、ゴルフ場経営とクラブ運営、ゴルフと社会、コース管理とメンテナンス、ゴルフ場開発と自然環境の保護、日本および海外におけるゴルフの現状、ジュニア・ゴルファーの現状と課題、ゴルフ会員権と法律問題など

- 実技テスト：大学ゴルフ指導者に相応しい一定レベル以上の技術力を保持しているかを、下記 3 項目または、4 項目の実技テストにより審査する。

① 7 番アイアンによる基本の打撃技術

(審査の着眼点)

- ・ゴルフの基本スイングを理解し、正しいスイング・モデルとして学生に示範できるよう、合理的で無理のないスイングで、7 番アイアンに相当する弾道と飛距離を打つことができるか。
- ・狙った目標方向に安定したショットを行うことができるか。

② アプローチ・ショット技術

(審査の着眼点)

- ・アプローチの基本であるチップ・ショット (ランニング・アプローチ)、ピッチ&ラン、ピッチ・ショットの 3 類を、それぞれの正しい構えとスイングで打ち分けることができるか。
- ・狙った方向に適切な弾道を打ち分けると同時に、距離感を調整してホールからワンピン程度までに寄せることができるか。

③ パッティング技術

(審査の着眼点)

- ・パッティングの正しいグリップと構えによって、タップ式またはストローク式のスイングでフェースの芯でヒットし、再現性の高いパッティングができるか。
- ・グリーン上のどこからでも、ほぼ 2 パット以内でカップインできる距離感と方向性の調整力および、グリーンへの傾斜と芝目を読む能力を保持しているか。

④ 実戦による総合技術 (ラウンドプレーでの実戦力)

(審査の着眼点)

- ・総合力を評価するテストとして、ドライバー・ショット、フェアウェーウッド・ショット、アイアン・ショット、状況に応じたアプローチ・ショット、バンカー・ショットおよび、パッティングという連続したプレーの中で実戦的 (応用的) なゴルフ技術を駆使し、コース・マネジメント力を発揮できるか。